

## キトラ古墳壁画保存管理施設の保存環境について

国立文化財機構古墳壁画PT生物環境班

## 保存管理施設内の温湿度・生物等の環境調査（令和4年度中間報告）

## ① 温湿度調査

施設内複数箇所に温湿度データロガーを設置し、温湿度のモニタリングを実施している。展示室、壁画保管室、出土品保管室の空調は常時稼働しており、温度は23.5℃に、相対湿度は55%に設定している。2022年1月以降の温度、相対湿度の日平均値では、壁画保管室および出土品保管室のいずれも設定値を維持しており、安定した温熱環境にあることを確認している（図1）。

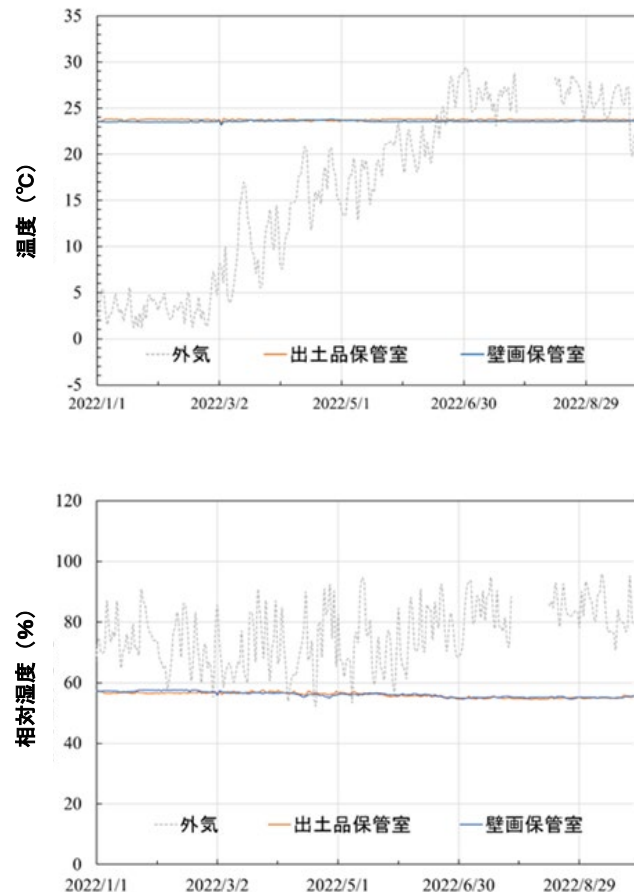


図1 キトラ古墳壁画保存施設内の気温（上）と相対湿度（下）

## ② 歩行性昆虫類生息状況調査と管理

令和3年度に引き続き、施設内35箇所調査を実施している。施設全体および壁画・出土品保管室の月毎の捕獲指数（注1）を図2に示す。壁画保管室および出土品保管室の捕獲指数は例年と比較して若干の増加傾向がみられるが、3.0以下を維持していることから良好な環境を維持している一方、二重壁内部にて夏季にチャタテムシ類が例年より多く捕獲された。壁画・出土品保管室の温熱環境は設定値を維持しているものの、二重壁内部が高湿度環境に移行し、チャタテムシ類の発生の要因となっている可能性が示唆される。引き続き、毎月の歩行性昆虫捕獲調査を実施する予定である。

注1： 捕獲指数 [匹/日] = (期間総捕獲数) [匹] / (トラップ設置期間) [日]

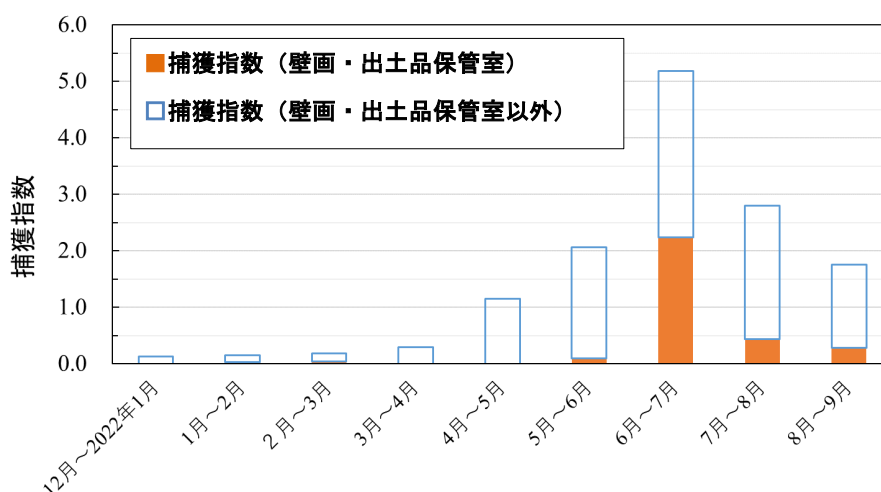


図2 施設全体および壁画・出土品保管室の捕獲指数

## ③ 施設内の生物等の調査

展示室でのカビの発生を抑制するため、除湿器を設置した。

- ④ 環境カビ調査 (8月に実施、次回1月実施予定)
- ⑤ 展示室展示ケース内の空気質調査 (2週間毎に実施)
- ⑥ 施設内の浮遊粒子数調査 (毎月実施)
- ⑦ 除塵清掃作業 (3月実施予定)
- ⑧ 他の装飾古墳について保存環境に関する調査